

感動しました！

朝の元気タイムでのことです。体力テストの予行練習といった内容でした。そこで見た坂小っ子の素晴らしい姿を紹介します。

- ① 縦割りグループの人数が揃ったことを先生に報告し、一礼する6年生の姿
- ② 活動の進め方を説明する倉先生の話を食べるように聞き入る子どもの姿
- ③ 先生の問いかけに対して、「はいっ！」と元気に応える姿
- ④ 「体操隊形に開け！」という6年生女児のかけ声に、すかさず下級生を導いてあげる高学年の姿
- ⑤ グループごとに移動する時のてきぱきとした動き
- ⑥ 種目に取り組む時の真剣な態度
- ⑦ 気を付けの姿勢の時のまっすぐ伸びた指先と礼のていねいさ

どれをとっても「素晴らしい」の一言でした。長いこと教員をしていますが、子どもの姿にこんなに感動したことはありません。

その日の午後に行われた荒踊継承教室においても、指導者の指導に真剣に向き合う子どもたちの姿に、また、感動の連続でした。

このような素晴らしい子どもたちを育ててこられた保護者の皆様をはじめ、地域の方々、これまで坂本小学校に勤務された先生方に、本当に頭が下がる思いでいっぱいになりました。

体験活動について

本校では、さまざまな体験活動を行っています。体験活動の中でも、間接体験や疑似体験ではなく、「人・物や実社会に実際にふれ、かかわり合う

『直接体験』を中心に計画しています。なぜ直接体験が大切なのでしょう？

子どもたちは体験



を通して、今までに出会ったことのないさまざまな課題に直面します。その時、子どもたちは「おや？なぜ？どうして？」という問題意識をもちます。そして、日常で学んだことを生かし、目の前にある課題の解決を図ろうとします。その過程には当然、挫折や失敗がつきものですが、試行錯誤を経て解決に向かって努力することを繰り返しながら課題に立ち向かう態度や意欲が育っていくのです。

「たまごっち」で間接的に飼育した架空の生き物は、リセットすれば、また生き返ります。しかし、直接、飼育・栽培した動植物は、失敗するとそこで終わりです。やり直しがききません。この挫折や失敗、試行錯誤が直接体験の醍醐味だともいえます。

本校で昨年度行われた主な体験活動は、次のとおりです。

- ※荒踊継承教室
- ※米づくり体験
- ※野菜、芋、花づくり
- ※火起こし体験
- ※運動会看板製作
- ※夢を育むお話会
- ※五ヶ瀬のよさを探す旅

すべての活動にたくさんの地域の皆様のご尽力をいただいています。この場を借りてお礼を申し上げます。

子どもたちの健闘を称えます。

- ◇宮崎日日新聞「みんなの作文」掲載
2年 ○○○○ 君
2年 ○○○○ 君 (昨年度、転出)
- ◇宮崎日日新聞「若い目」掲載
2年 ○○○○ さん
6年 ○○○○ さん
- ◇宮崎日日新聞「かりぼし往来」掲載
5年 ○○○○ さん
- ◆高千穂神社奉納剣道大会
優勝 ○○○○ 君
- ◆宮日杯県小・中・高校剣道選手権大会
小学校男子
優勝 ○○○○ 君
小学校女子
3位 ○○○○ さん



「お陰で心に残る遠足になりました！」

5月13日
(金)に実施
した春の遠足
は、晴天に恵
まれました。
今回の遠足
では、奈良津
にお住まいの
山中実行さんに大変お世話になりました。



谷下でバスを降りた子どもたちは、山中さんの先導で、奈良津公民館に向けて元気よく出発。長い道のりを歩く子ども達を気遣い、タイ

ミングよく草木の説明をしてくださったり、宝探しを事前に準備してくださったりして、子ども達を楽しませてくださいました。

また、奈良津公民館でお弁当を食べた後は、サドガラを使っての笛作りにも挑戦させていただきました。



この他、子ども達が困らないようにと、途中2か所に簡易のトイレを設置しておいてくださったり、山水を飲みやすいように竹のコップを準備してくださったり、さらに、宝探しの景品まで一人一人にプレゼントしてくださったりしました。



子ども達は、坂本の自然のすばらしさを改めて確認する大変良い機会

になったと思います。そして、自分たちのために心を込めて準備したり、お世話し

てくださったりする地域の方々がいらっしゃるということを再確認できたのではないかと思います。本当に心に残る素晴らしい遠足になりました。



※ 当初の予定では、春の遠足は熊本市動植物園に行く予定でした。しかし熊本地震発生を受け、急遽、実行さんをお願いした次第です。突然のお願いにもかかわらず、こんなにも細やかな対応をしていただき、本当に感謝しております。